

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤崎 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立へご協力をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「運動が好き」と答える児童は多いが、「体育の授業が楽しい」と答える児童の増加にはつながっていない。体育科学習で「できる喜び」を味わわせる授業改善が必要である。 ・「体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う」と答える女子児童の割合が、男子児童の割合の半分にとどまっている。 ・「自分の体力に自信がある」と言い切る児童は2割程度しかいない。自信をもたせるための体育授業を進めていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、体育科学習の導入時に、主運動につながる補強運動を位置づけることで、基礎体力の向上を図る。(各学年、毎時間行う) ・新体力テストを全学年・全種目、適切に実施するための校内研修を行う。研修したことをもとに、年2回(春、冬)のテストを行い、個々の伸びに気付かせることで、児童が自分の体力に自信をもてるようにしていく。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ・隔週末曜日、縦割り活動(赤崎キッズ)の取組で、異学年による運動交流を行う。6年生や5年生が中心となって運動の内容を計画・実施することで、楽しく運動に取り組める環境作りを進める。 ・全国体力・運動能力調査の課題や、体力向上に関する取組を保護者に周知していく。 ・体力向上シートを活用し、家庭への啓発を進める。
--